

北東アジア学会 サテライト研究会

北東アジア学会の「サテライト研究会」は、会員だけでなく非会員の方にも広くご参加いただき、若手研究者の育成を目的として、2012年8月から開催しています。第5回目の今回は、東京で開催、研究報告3本です。

報告1 (10:00-11:00)

山田 朋美(津田塾大学国際関係研究所)

戦間期におけるアイルランド人の東アジア認識

—日本・欧米列強の中国・朝鮮支配と聖コロンバン会の宣教活動—

コメンテータ : 曹 明玉 (早稲田大学)

報告2 (11:00-12:00)

包呼和木其爾(バウ・フムチル 東北大学大学院環境科学研究科博士課程後期課程)

清代内モンゴル・ハラチン地域のアルバン・タリヤ(徭役地)について

コメンテータ : 中村 篤志 (山形大学人文学部)

報告3 (12:00-13:00)

ハイ・セチンゴア(昭和女子大学博士課程)

モンゴル人作家インジャンナシの生活環境に見る「近代」

——19世紀末の内モンゴル東部における社会情勢の変動を通して——

コメンテータ : 岡 洋樹 (東北大学東北アジアセンター)



- とき 2013年12月23日(月)10:00-13:00
- ところ 日本大学法学部2号館6階「261教室」
JR水道橋駅から徒歩3分
- 参加費 無料
本学会会員のほか、非会員も聴講歓迎
- 申込・問合せ 北東アジア学会事務局(担当:山田)
電子メール jimukyoku@anears.net
- 企画 高橋 和(山形大学)
- 主催 北東アジア学会